

白内障手術を受けるときは 主治医との相談が大切です

多焦点眼内レンズを選ぶ上で、ご自身の生活スタイルや希望する見え方などを、主治医にしっかり伝えることが大切です。各々の眼内レンズのメリットとデメリットなど、主治医の説明をよく聞き、手術後の見え方をイメージするようにしましょう。

主治医と相談する際に伝えたい項目



白内障の治療について もっと詳しく知りたい方は...

ラジオNIKKEI番組 2017年9月放送(2回シリーズ)
『白内障と診断されたら 2017』
出演:ピッセン宮島弘子先生 聴き手:山本舞衣子アナウンサー
オンデマンド配信サイト MEDICAL LIBRARY
<http://www.radionikkei.jp/hakunaisho/>

パソコンやスマートフォンで聞くことができます



スマートフォン等のバーコード読み取りアプリで右のQRコードを読み取ることによりオンデマンド配信サイトに接続できます

エイムオー・ジャパン 株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-13-1 TEL.03-5402-8920 FAX.03-5402-8593

Johnson & Johnson VISION

R463CZXR0-17Q3100000

遠くから近くまで 自然に見える 眼内レンズがあるの？

白内障

と

診断されたら



「白内障治療」に関するラジオ番組をスマートフォンで聞くことができます

多焦点眼内レンズにもいろいろなタイプがあるんだね



遠くから



近くまで



監修: ピッセン宮島 弘子先生
東京歯科大学 水道橋病院 眼科教授

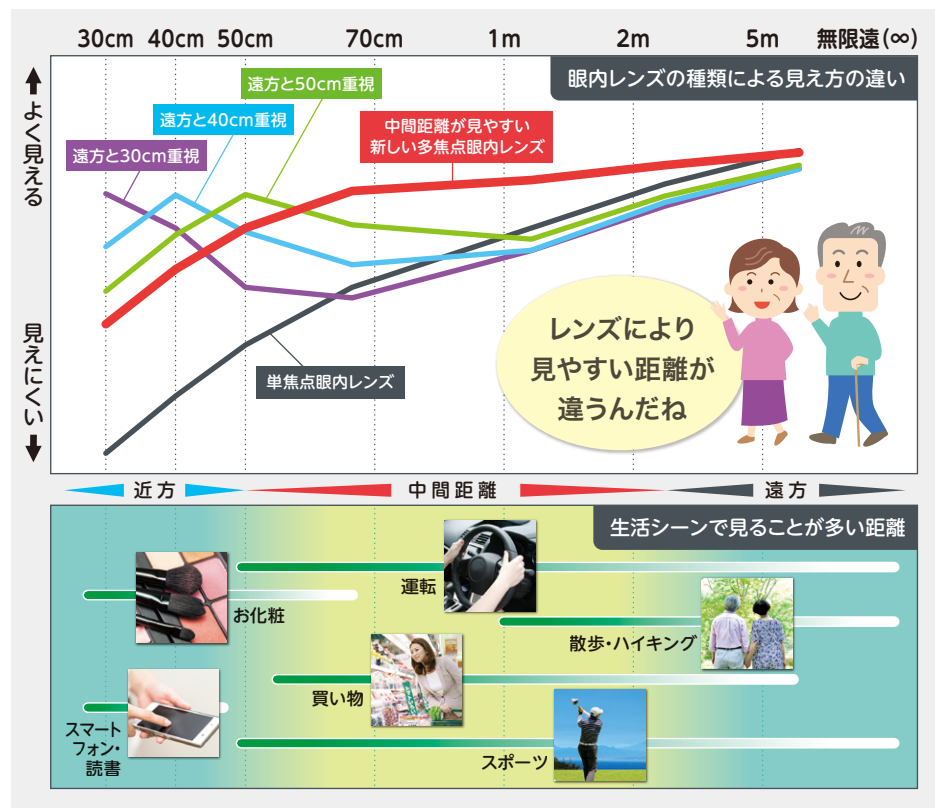


自分に合った眼内レンズを選ぼう

生活スタイルで眼内レンズを選ぶ

複数の距離にピントが合う「多焦点眼内レンズ」は、様々な種類があります。おもに、近方(30~50cm)や中間距離(50cm~3m)の見え方に違いがあり、普段の生活の中でよく見る距離などを考えて選ぶ必要があります。

眼内レンズの種類と生活シーンの関係



遠方・近方に加え、中間も見たい方に

従来の多焦点眼内レンズは、遠方(3m~)と、近方(30cm、40cm、50cm等)の2つの距離にピントが合います。

生活の中では、中間距離を見る機会も多いため、遠方~中間~近方が自然で見やすい、新しい多焦点眼内レンズも登場しています。



中間距離の見え方比較



中間距離が見やすい

従来の多焦点眼内レンズの課題に対応

従来の多焦点眼内レンズの課題として、光がまぶしく見えるハロー・グレアや、コントラスト感が低下し色の濃淡がわかりにくいことが挙げられました。新しい多焦点眼内レンズは、これらの課題にも対応しています。

ハロー・グレアやコントラスト感度の比較

